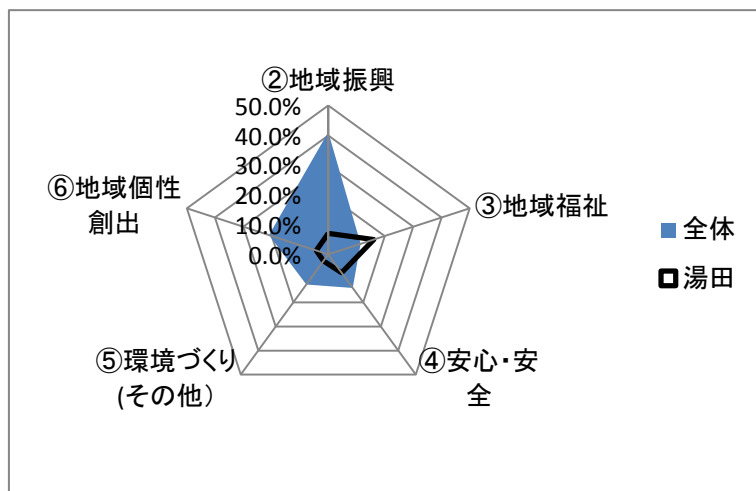


湯田地区コミュニティ運営協議会 地域づくり交付金事業概要(平成28年度)

■地域の情報

地域人口	12,969人	自治会数	15
世帯数	6,059世帯	自治会加入率	78.68%

※数値は、平成29年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	10,098,000 円
交付金決算額	9,433,008 円
その他収入	6,015 円
交付金決算額/配分額	93.4%

各分野の決算

①協議会運営	3,267,769 円
②地域振興	289,376 円
③地域福祉	943,000 円
④安心・安全	1,117,939 円
⑤環境づくり(土木工事)	2,066,000 円
⑤環境づくり(その他)	114,000 円
⑥地域個性創出	1,640,939 円
決算総額	9,439,023 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

「優しく、美しい、誰もが、安心するまちづくり」をキャッチフレーズに、第2次地域づくり計画の実践を通して、より一層住みよい、協働によるまちづくりを推進していきます。

■総括

平成28年に策定した第2次湯田地区地域づくり計画に基づいて、各分野の事業をどこおりなく推進することができました。各部会の今年度の振り返りをもとに、引き続き地域づくりに向けた活動を行っていく予定としています。特に、防災活動の一環としての新たな地区全体の大きな取り組みである「住宅用火災警報器設置促進事業」ですが、今年度については来年度以降の本格活動に向けた計画を具体的に立てることができました。また、防災組織の強化についても、地区全体を上げて、さらに進めていく予定です。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局の運営体制
② 地域振興	広報誌の発行、ホームページの更新、健康福祉部会研修視察
③ 地域福祉	ふれあい会食会、敬老事業助成、生涯学習の推進、ふれあい型給食サービス事業、スポーツを楽しむ日、世代交流事業、母子保健事業、人権学習の推進
④ 安心・安全	防災・減災活動等の推進(住宅用火災警報器設置及び119番の家設置促進、ふれあい安心・安全フェスタ)、防犯活動の推進、校区内巡回活動・子ども110番、反射鏡設置等補助、安全設備等の設置
⑤ 環境づくり	法定外公共物整備事業、環境美化活動、湯田中クリーンアップ大作戦、看板等の設置
⑥ 地域個性創出	第52回湯田地区町内親睦大運動会、第29回湯田ふるさとまつり、歴史や産業を学ぶ交流研修、ふるさとづくりミステリーハイキング、熊野公園里山づくりの会、行事用品等整備

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	防災・減災活動等の推進	決算額	498,847円
	目的	地域の安心安全に対する意識の高揚を図る。		
	実施内容	「ふれあい安心・安全フェスタ」を開催し、警察・消防関連機関及び地区内関係団体の協力連携のもと、各種イベントを実施。		
	実施時期	平成28年9月25日		
	参加人数	約700人		
	成果	各種イベントを通じて、参加者に防災意識の高揚が図れた。		
	評価	各行政機関と地域住民との親睦・連携を深めることができた。また、出展ブースの担当者から来年も呼んでほしいといった声をいただいた。		
	今後に向けて	情宣、内容に工夫を加え、更に充実したものにしていきたい。		
②	事業名	歴史や産業を学ぶ交流研修	決算額	131,736円
	目的	地域の歴史や産業にちなんだ研修を行い、併せて世代間交流を図る。		
	実施内容	産業ツアーとして、エネルギーの体験ツアーを実施。		
	実施時期	平成28年7月27日		
	参加人数	14名		
	成果	普段見ることのできない工場の見学や体験を通じて、産業について学習できた。		
	評価	子どもたちの産業への関心が深まり、併せて世代間交流もできた。		
	今後に向けて	今後も継続的に実施することで、学習の場のみならず、世代間交流の場としての事業としても実施していきたい。		
③	事業名	環境美化活動	決算額	100,000円
	目的	清掃等を通じて各種団体と連携しながら地域内の環境美化に取り組む。		
	実施内容	各種団体や生徒等地域全体を上げて、公園や地下道、また学校グラウンド壁面の清掃及び塗装等を実施。		
	実施時期	平成28年4月～平成29年3月		
	参加人数	約680人		
	成果	年間を通じての地域内美化につながった。		
	評価	地域住民相互のコミュニケーションの機運が高まった。		
	今後に向けて	美化活動に向けて参加者を広げていくとともに、地域内住民のコミュニケーションを図る場としての事業として実施していきたい。		